

令和8年度木曽地区酒米中間検討会を開催しました！

○実施日 7月27日（月）

○場 所 木曽町福島 木曽合同庁舎 講堂

○内 容

木曽農業農村支援センターでは、地元の酒造メーカーに需要のある、長野県で育成した酒米「山恵錦」を、地元で供給する生産体制を構築し、生産者と実需者の橋渡しを進めて4年目を迎えました。

今年も7月27日に、地元酒造メーカーと「山恵錦」の生産者、ＪＡ、町村、町村農業委員会を参集し、中間検討会を開催しました。酒造メーカーからは、木曽産の「山恵錦」の品質を高く評価して頂き、長い目で将来に向けて地元での生産拡大を要望するとの意向を頂きました。生産者からは「山恵錦」は栽培し易く、今後生産を拡大していけば「コシヒカリ」との作期分散にも役立つと評価され、農地を任せてくれる人がいれば生産拡大していきたいとの意向を頂きました。今年から検討会に新たに参加された酒造メーカーからも、将来地元産の「山恵錦」を原料に使いたいとの意向を頂きました。

検討会の後半では、昨年地元で生産した「山恵錦」で3蔵がそれぞれ醸造した地酒を試飲し、地元産「山恵錦」の酒蔵それぞれの個性ある地酒を味わいました。

※「山恵錦」は長野県が育成した醸造特性、栽培特性に優れた酒造好適米です。



写真1：現地酒米展示圃の生育状況の説明



写真2：昨年産「山恵錦」3蔵の地酒試飲